末筆ながら，上記標本を恵与された坪井氏，ならびに発表にあたりいろいろと御指導いただいた平野幸彦氏に感謝申し上げる。

（〒182　調布市柴崎2-18-1）

長野県軽井沢における オオシラホシハナノミの記録

平山　洋人



ハナノミ科オオシラホシハナノミ *Hoshihananomia pirika* KONO は，本州からは現在までに群馬県片品村大沢，兵庫県氷ノ山から記録され，原産地北海道の他に四国・九州でも採集されている（未発表）らしいが，いずれの地においても稀なもののようである。

1973年，筆者は軽井沢において本種を採集しているので報告しておく。

1♀，長野県北佐久郡軽井沢町矢ヶ崎山，8. Ⅷ. 1973

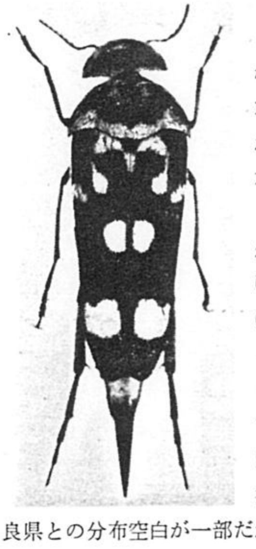
ワレモコウ，アザミ類の多い草原を飛翔中のもの。

末筆ながら，本種の同定および御教示下さった高桑正敏氏に深く感謝したい。

（〒336　浦和市大字文蔵1148）

山梨県のオオキボシハナノミの記録

高桑　正敏



ハナノミ科オオキボシハナノミ *Hoshihananomia auromaculata nipponica* NOMURA は南方系の種と考えられ，原亜種は台湾に産する。本亜種は屋久島・対馬・四国・本州から記録され，また意外にも北海道トムラウシにおける単発記録がある。本州では奈良県春日山に稀ではないらしいが，その他の地域ではこれまで採集された話を聞いていない。しかし，1972年に山梨県大菩薩山塊で2頭が採集され，ようやく北海道と奈良県との分布空白が一部だが埋まったので，ここに報告しておきたい。

2♀♀，山梨県大月市小金沢林道（標高約 1300m），30. Ⅶ. 1972，木村欣二・露木繁雄採集，標本筆者保管

なお，上記山梨県産は他産地のものと比較してとくに差は見いだせず，わずかに1♀の上翅黄色紋がやや淡色であるにすぎない。

（〒236　横浜市金沢区六浦町3577）

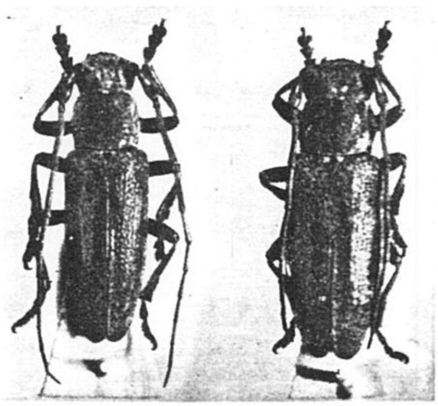
伊豆半島でハチジョウウスアヤカミキリを採集

小田　義広*・久保田篤男**

ハチジョウウスアヤカミキリ *Bumetopia japonica heiana* HAYASHI は従来，伊豆諸島から知られていたが，1972年に石田正明氏によって千葉県勝浦の採集例が報告され（月刊むし18号，16頁），本州にも分布することが明らかとなった。

筆者2人は静岡県伊豆半島下田付近を訪れた際に，メダケ材中より成虫を得ることができたので，千葉県下に続く本州の記録としてここに報告しておきたい。

12exs.，伊豆半島下田～須崎，11. Ⅱ. 1973



左：♂　右：♀

*（〒253-01　神奈川県高座郡寒川町倉見）
**（〒346　久喜市六万91　埼玉県園芸試験場）

長野県戸台でヨコグロケシカミキリ

大沢　昭夫

1973年5月4，5日に長野県上伊那郡戸台を訪れた際に同所の枯木を採集してきたところ，ヨコグロケシカミキリ *Exocentrus fisheri* GRESSITT が1頭脱出したので報告する。

1♂，横浜羽化脱出，21. Ⅴ. 1973，材種不明
（長野県上伊那郡戸台，4. Ⅴ. 1973，筆者採集）

本種は草間慶一（1973，日本産カミキリの生態と分布一覧表，新しい昆虫採集案内Ⅲ）によれば，札幌・南大雪・福島県湯ノ花・奥日光・武尊山から得られ，長野県

下からはまだ報告はないものと思われる。

(〒230　横浜市鶴見区潮田町3-138-1)

長野県扉温泉でムネモンヤツボシカミキリ

林　　良一

1972年3月19日に長野県松本市外の扉温泉から持ち帰ったサルナシ材を，帰宅後の同年4月2日に割ってみたところ，ムネモンヤツボシカミキリ *Saperda tetrastigma* BATES 1♂（成虫）が出てきた。

扉温泉の早川広文氏によれば，同地での採集例を聞かないということなのでここに報告しておく。

なお，同じサルナシ材からは後日に多数のアカネカミキリ *Phymatodes maaki* (KRAATZ) が脱出した。

(〒154　世田谷区上馬5-38-3)

ムネモンウスアオカミキリ石垣島の記録

杉野　広一



台湾原産のムネモンウスアオカミキリ *Pareutetrapha magnifica* (SCHWARZER) は，わが国からは八重山諸島西表島での3例の報告[1),2)]があるが，筆者は石垣島から採集できたので報告しておく。

1♂，石垣島オモト岳，11. Ⅳ. 1973，杉野広一採集

なお，この個体は頭部と前胸の青い f. *unicolor* である。

1) 小島・林・国吉・渡辺：高知大学学術研究報告 **14**，自然科学Ⅱ No. 9，p. 99，1965

2) YOKOYAMA, H.: Ent. Rev. Japan **23**(2), p.100, 1971

(〒663　西宮市上大市4-148)

伊豆御蔵島のカミキリ2種

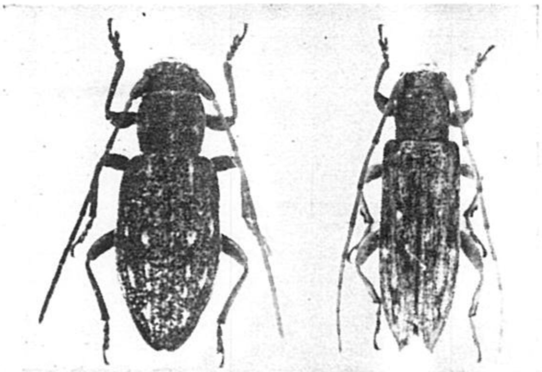
藤田　　宏

1. ハネナシチビカミキリ
Palausybra hachijoensis HAYASHI

1♂，御蔵島黒崎高尾，30. Ⅵ. 1973，藤田宏採集
伐採木のビーティングによる。

1♀，御蔵島川田，1. Ⅶ. 1973，藤田宏採集
シイ倒木のまだ枯葉が付着している枯枝のビーティングによる。

本種は東南アジア（パラオ諸島）に同属種をただ1つもち，また形態的にも写真に示すように，一見アカガネカミキリにも似る？という特異な種である。



左：ハネナシチビカミキリ　右：アヤモンチビカミキリ

八丈島（原産地）と御蔵島より記録されているが，八丈島では原記載（1958年）以来採集された話は聞かず，また御蔵島においても数例のみで最近は得られていなかったもののため，報告しておきたい。

2. アヤモンチビカミキリ *Sybra ordinata* BATES

1 ex.，御蔵島里，1～8. Ⅷ. 1973，T. NOMURA・T. AKIYAMA 採集

種子島以南の島々には普通に産し，四国・九州にも分布するが，本州からは確実な記録を知らない。もちろん伊豆諸島からの記録も従来なかったもので（沢田・渡辺（1969）の記録はミクラチビカミキリ *Sybrodiboma mikurensis* HAYASHI のことである），今回が伊豆諸島としては初めてと思われる。

(〒110　台東区台東2-29-6)

屋久島でオニホソコバネカミキリ♀を採集

川田　一之



筆者は，1973年7月に屋久島を訪れた際に，オニホソコバネカミキリ *Necydalis gigantea* KANO ♀を採集した。これまで♂は3頭得られているが，♀は初めてと思われるので報告する。

1♀，屋久島白谷，21. Ⅶ. 1973
土場を飛んでいる所を採集。

この個体は，群馬県大沢産のものと比較すると，触角がいくぶん長く，細い体をしている。

なお，この土場では数日の間に，本種のほかキスジトラ (subsp. *kamakarii*)・ムモンチャイロホソバネ・トラフホソバネ・アラカワシロヘリトラ・ヤクシマミドリ等のカミ